

インドネシアの祝祭日 1月～6月

多民族国家インドネシアでは宗教ごとに祝祭日が設けられており、ほとんどの祝祭日は各宗教の暦に従っています。新年、メーデー、独立記念日、クリスマス以外は、年ごとに異なる移動祝祭日です。また、イスラム教徒が全人口の9割近くを占めるインドネシアにあつて、バリ島だけは独自のバリ・ヒンドゥーを信仰する人が9割を占めています。そのためバリ島では独自の慣例休日も多くあります。

インドネシア観光省が発表している2015年の祝祭日は次のとおりです。今回は、1月から6月の祝祭日について説明します。

1月1日(木)	新年
1月3日(土)	ムハマッド降誕祭
2月19日(木)	イムレック(中国暦2566年正月)
3月21日(土)	ニュピ(サカ暦1937年新年)
4月3日(金)	キリスト受難日
5月1日(金)	メーデー
5月14日(木)	キリスト昇天祭
5月16日(土)	ムハマッド昇天祭
6月2日(火)	ワイサック(仏教大祭)
7月16日(木)	政令指定休日
7月17日(金)～18日(土)	イドゥル・フィトリ(1436年断食明け)
7月20日(月)～21日(火)	政令指定休日
8月17日(月)	インドネシア共和国独立記念日
9月24日(木)	イドゥル・アドハ1436年(メッカ巡礼最終日)
10月14日(水)	イスラム暦1437年新年
12月24日(木)	政令指定休日
12月25日(金)	クリスマス

○1月1日(木) 新年

大晦日から元旦にかけてカウントダウンイベントが行われますが、店舗は通常通り営業しています。日本の正月のような長期休暇はなく、親戚同士が集まるといったこともありません。イスラム教徒やキリスト教徒が国民の大半を占めるインドネシアでは、そちらの宗教的行事のほうが国民にとっては重要なのでしょう。

○1月3日(土) ムハマッド降誕祭

イスラム暦の第3月12日にあたる日が、預言者ムハマッドの生誕日です。多くのムスリムがモスクに集まり、共同礼拝を行います。

○2月19日(木) イムレック(中国暦2566年正月)

中国暦の正月、旧正月です。華僑は家族で集まり、寺院に参ってお祈りをするなどして新年を迎えます。最近では前後に数日休暇をとり、家族で海外旅行をする人もいます。

ショッピングモールでも中国伝統芸能にちなんだイベントが多く行われます。ジャカルタやスラバヤ、メダンなどの大都市はもちろん、華僑が多く住んでいるカリマンタン島のポンティアナックでも、賑やかにお祝いされるようです。

○3月21日(土) ニュピ(サカ暦1937年新年)

ニュピとはバリの暦であるサカ暦の新年にあたります。ニュピの前日はバリの暦で大晦日となり、鬼を追い払うオゴオゴが行われます。ニュピは、オゴオゴの賑やかさとは正反対に静寂の日と言われ、バリ人はこの日、一步も家の敷地から外に出ず、調理も食事もしません。電気や火の使用も許されず、大声で騒ぐことなども禁止され、静かに一日を瞑想して過ごします。会社も役所もこの日は休みとなり、悪霊が過ぎ去るのを待ちます。

旅行者であっても、ホテルなどから外出できません。タクシーやベモ(乗合バス)などの交通機関も完全にストップするため、この時期のバリ島への旅行は注意が必要です。

○4月3日(金) キリスト受難日

キリスト教の復活祭前の金曜日にあたる日で、イエス・キリストが受難3日目の日曜日に復活したとされていることによります。教会では厳粛なミサが執り行われます。金曜日が公式の祝祭日になるので、金土日と3連休になります。

○5月1日(金) メーデー

労働者の祭典と言われるメーデーは、2014年から国の祝祭日となりました。ジャカルタなどの都市部では待遇改善を求める労働者による大規模なデモが行われ、最低賃金の順守や健康保険の拡充に加え、政府が計画していたガソリン値上げ反対などが叫ばれたようです。

○5月14日(木) キリスト昇天祭

復活したキリストが昇天した日で、復活祭後6番目の木曜日にあたります。

○5月16日(土) ムハマッド昇天祭

預言者ムハマッドが昇天した日です。

○6月2日(火) ワイサック(仏教大祭)

毎年5月から6月の満月の日に、ブッダの生誕を祝して開かれる仏教徒最大のお祭りです。ジョグジャカルタにあるボロブドゥール寺院に、国内外から多くの僧や仏教徒等が集まり儀式を行い、祈りを捧げます。

以上のように、インドネシアの祝祭日は宗教に基づくものがほとんどです。イスラム教に基づくものが多いですが、ニュピ(バリ・ヒンドゥー教)やキリスト昇天祭などイスラム教以外の宗教に関連した祝祭日もあります。

こうした祝祭日には、他宗教のインドネシア人も休みになります。インドネシアの宗教構成は、イスラム教88.1%、キリスト教9.3%、ヒンドゥー教1.8%となっており、世界最大のイスラム人口を有していますが、イスラム教は国教ではありません。

日本には知らない祝祭日ばかりですので、これらに合わせてインドネシアを訪れ、宗教的な文化や伝統を体験してみるのも良いかもしれません。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (P.T. J.C内) 概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。